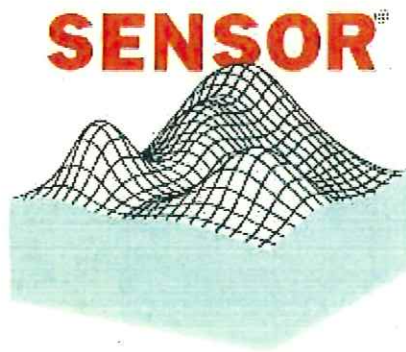


遮水シート損傷位置検知システム（センサーDDS）測定結果（上流側）報告書

【業務名称：平成 29 年度から平成 32 年度までの特定廃棄物等埋立処分工事】



2018 年 09 月

太陽工業株式会社  
国土環境エンジニアリングカンパニー

## 1. はじめに

平成 29 年度から平成 32 年度までの特定廃棄物等埋立処分工事において、廃棄物埋立に於ける現段階での遮水シートの健全性確認を目的とした測定を実施したので、本書にて結果を報告する。

表-1.1 システム測定履歴

No	点検	実施年月	経過年				報告書No
			年	月	日	時	
0	設置時調整	2000年4月14日					VH00T009
1	初回点検	2002年11月20日	2	年	7	ヶ月	VH02T007-02B
2	2回目点検	2003年8月22日	3	年	4	ヶ月	VH03T034-01B
3	3回目点検	2004年7月29日	4	年	3	ヶ月	VH040042-01C
4	4回目点検	2005年9月14日	5	年	5	ヶ月	VH050075-01C
5	5回目点検	2007年6月28日	7	年	2	ヶ月	VH070042-02C
6	6回目点検	2009年6月18日	9	年	2	ヶ月	VH090030-01C-01
7	7回目点検	2012年5月23日	12	年	1	ヶ月	VH120031-01C-01
8	8回目点検	2015年2月13日	14	年	9	ヶ月	
9	9回目点検	2016年2月19日	15	年	10	ヶ月	
10	10回目点検	2016年11月18日	16	年	7	ヶ月	VH1614590-01-01
11	11回目点検	2016年12月21日	16	年	8	ヶ月	2016-00023474-01-1
12	12回目点検	2017年3月16日	16	年	11	ヶ月	2017-00001772-01-1
13	13回目点検	2017年6月22日	17	年	2	ヶ月	2017-00011125-01-1
14	14回目点検	2017年10月30日	17	年	6	ヶ月	2017-00018883-01-1
15	15回目点検	2018年9月18日	18	年	5	ヶ月	2018-00015173-01-1

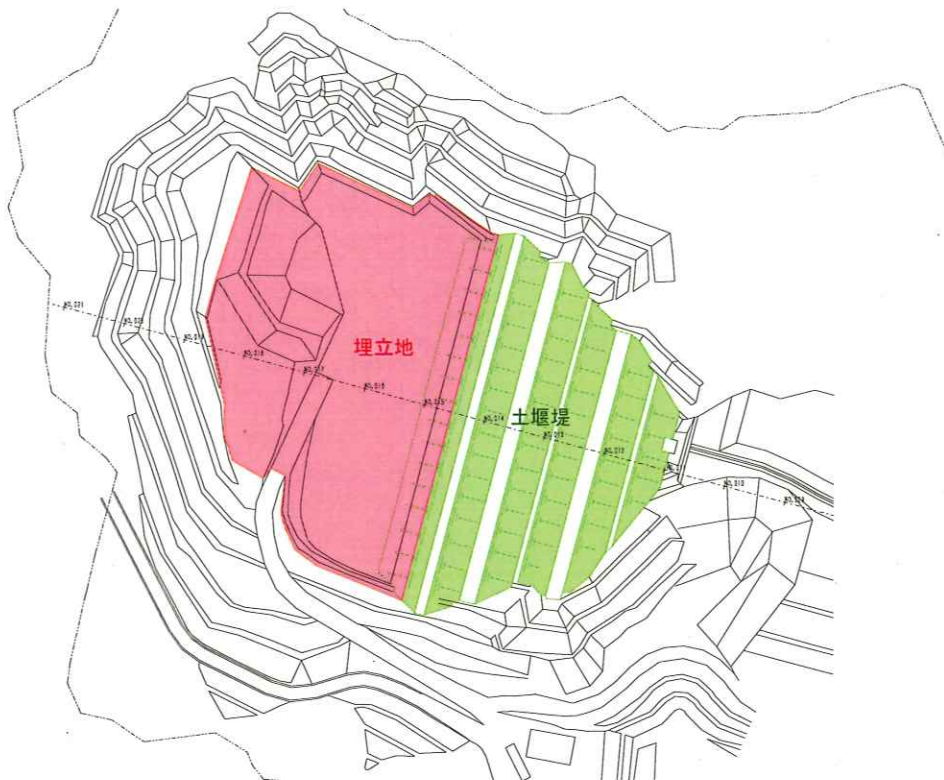


図-1.1 埋立地平面図



図-1.2 西門付近より上流側埋立地

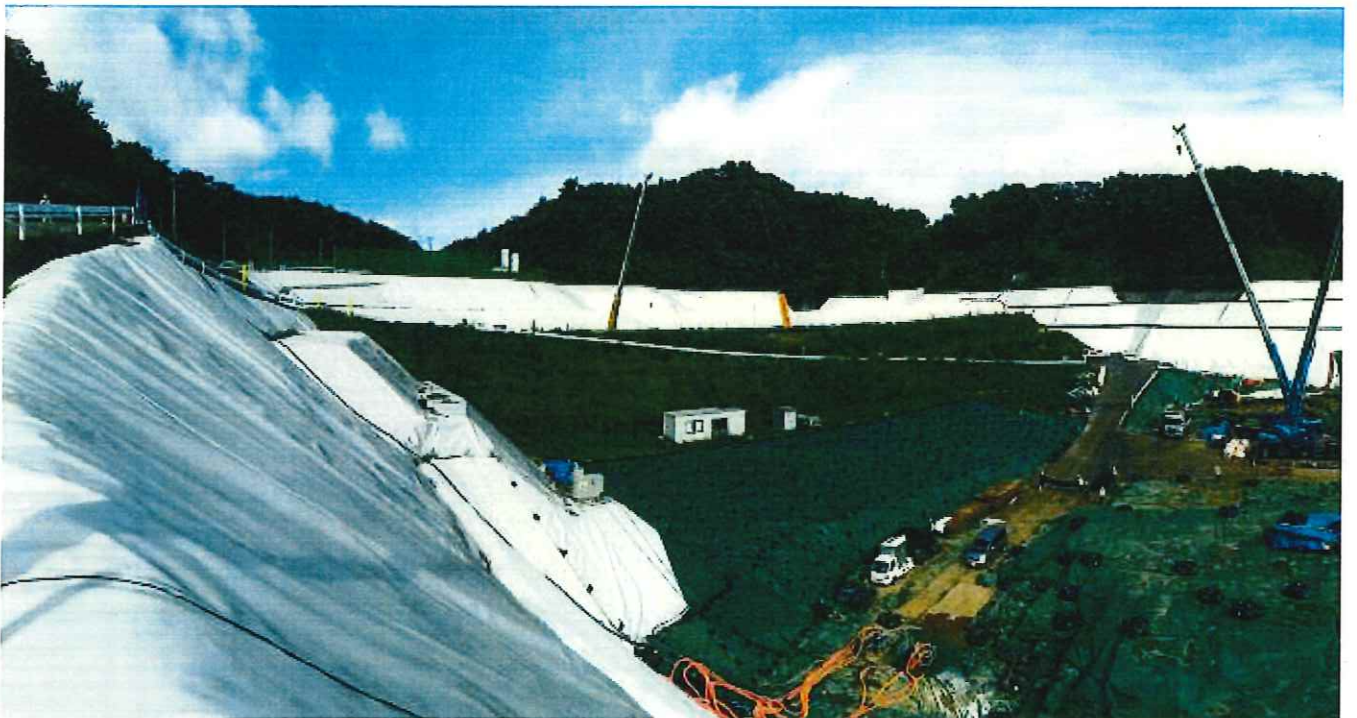


図-1.3 上流側中継端子盤付近より上流側埋立地

## 2. 測定概要

実施日 ; 2018年09月18日(火)

天候 ; 晴れ

測定対象 ; 上流ブロック底面部的上層シート

測定機器 ; PMS (ポータブルモニタリングシステム)

測定方法 ; 端子盤設置場所において計測機器を下記の各電極に接続することにより測定を実施した。

- ・ 検知電極 (センサー) : No 1 ~ 46 (遮水シート間に設置)
- ・ 場内給電電極 : TA1 ~ TA4 (保護土内に設置)
- ・ 場外給電電極 : G (中継端子盤アースに接続)



図-2.1 計測機器設置 (測定) 状況

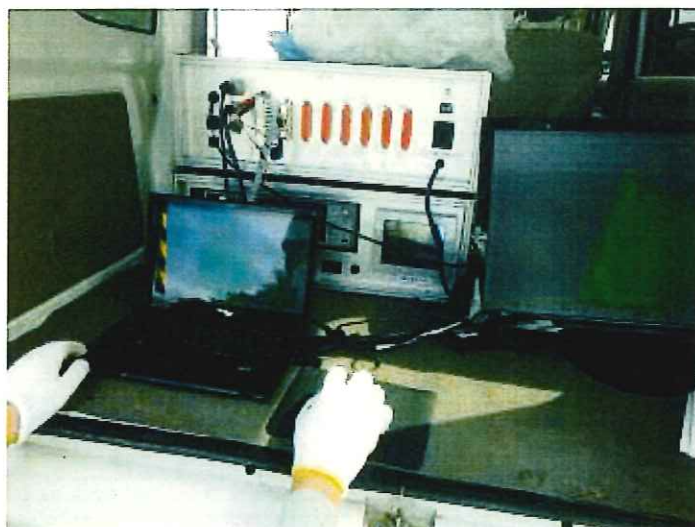
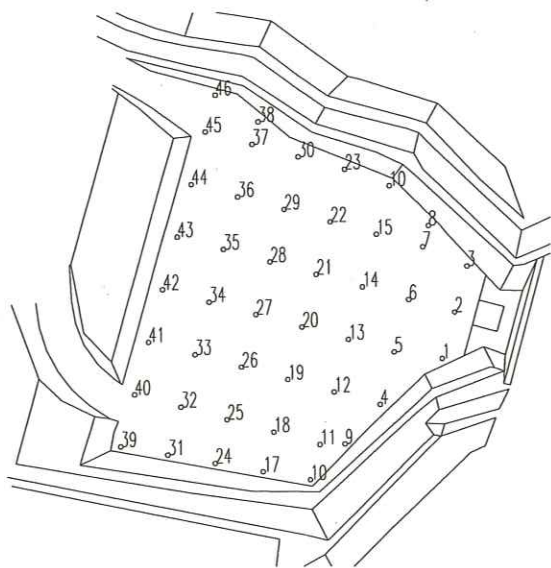
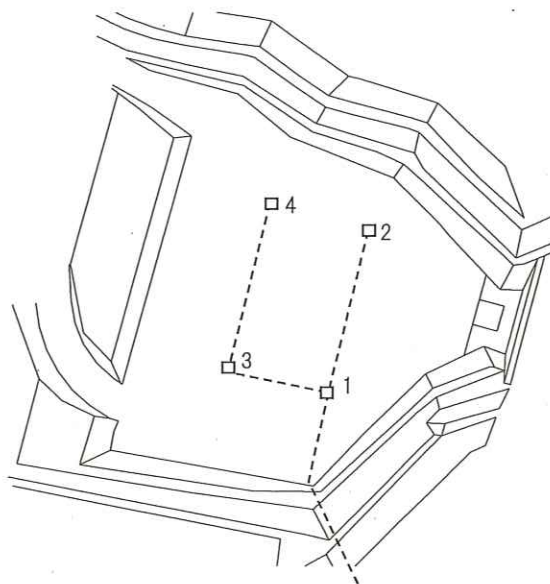


図-2.2 測定状況



(検知電極配置図)



(場内給電電極配置図)

図-2.3 電極配置平面図

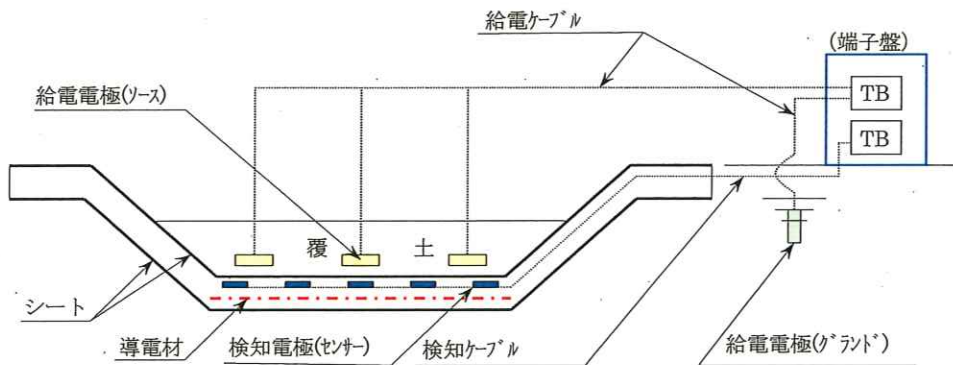


図-2.4 システム設置概要図

### 3. 測定結果

#### 3.1. 測定条件

表-3.1. 測定条件

条 件	値	備考
天 候	晴れ	2018/09/18
地盤の状態	湿潤	
TA1~4-G 間 無負荷抵抗	537.3kΩ	マルチメータ
TA1~4-G 間 印加時電圧	10V	マルチメータ
TA1~4-G 間 印加時電流	3.8mA	マルチメータ

### 3.2. 測定結果

現況における遮水シートの状態を電位計測した結果を図-3.1に示す。今回の測定結果の比較として前回の測定データ（2017年10月30日14:25）を図-3.2に示す。

1	測定方式	電圧測定
2	DMM 測定レンジ	固定、分解能 0.1mV
3	サンプリングレート	T1=3s, T2=1s, T3=3s, T4=1s



図-3.1 今回測定データ（2018年9月18日13:29）

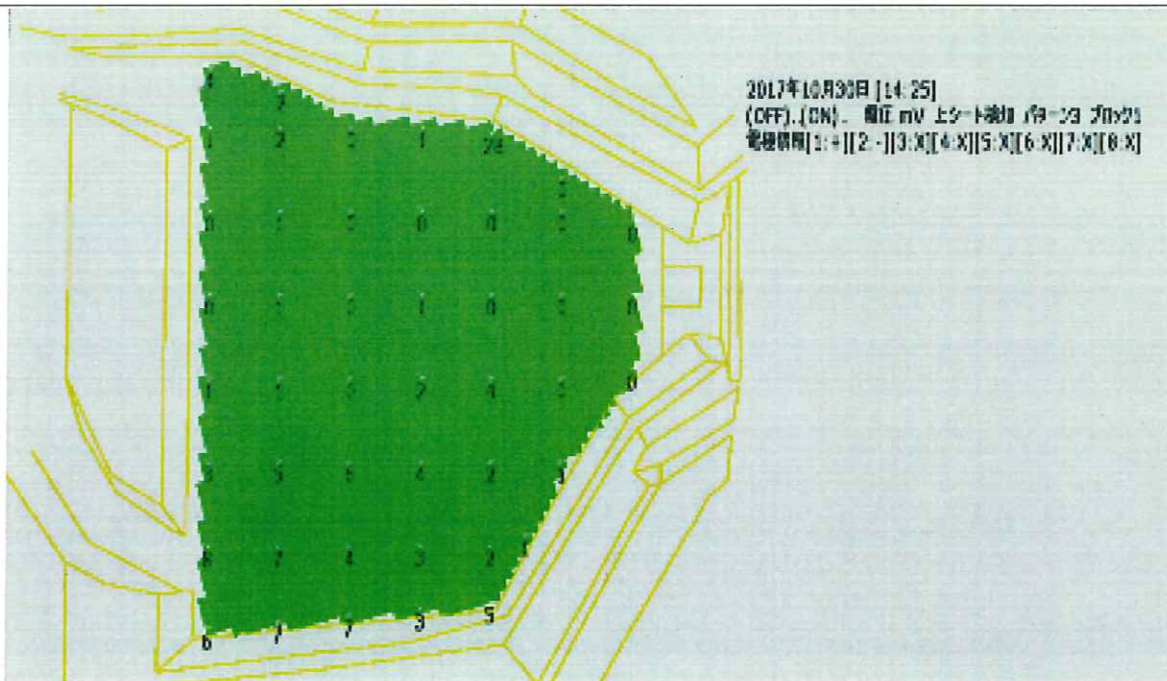


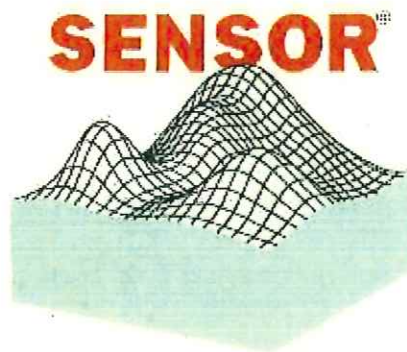
図-3.2 前回測定データ（2017年10月30日14:25）

#### 4. 考 察

PMS 測定機を用いて漏洩検知の現地測定を実施した。その結果、前回同様、漏洩を示す顕著な電位変動は見られないことから遮水工の健全性が維持されているものと判断する。

遮水シート損傷位置検知システム（センサーDDS）測定結果（下流側）報告書

【業務名称：平成 29 年度から平成 32 年度までの特定廃棄物等埋立処分工事】



2018 年 09 月

太陽工業株式会社  
国土環境エンジニアリングカンパニー



# 1. はじめに

平成 29 年度から平成 32 年度までの特定廃棄物等埋立処分工事において、廃棄物埋立に於ける現段階での遮水シートの健全性確認を目的とした測定を実施したので、本書にて結果を報告する。

表-1.1 システム測定履歴

No	点 検	実施年月	経過年	報告書No
0	設置時調整	2010年5月21日	-----	VH090030-01C-02
1	初回点検測定	2011年1月20日	0 年 7 ヶ月	VH110007-01C
2	2回目点検測定	2012年5月23日	2 年 0 ヶ月	VH120031-01C-02
3	3回目点検測定	2015年2月13日	4 年 8 ヶ月	
4	4回目点検測定	2016年2月19日	5 年 8 ヶ月	
5	5回目点検	2016年11月18日	6 年 5 ヶ月	VH1614590-02-02
6	6回目点検	2016年12月21日	6 年 7 ヶ月	2016-00023474-01-2
7	7回目点検	2017年3月16日	6 年 9 ヶ月	2017-00001772-01-2
8	8回目点検	2017年6月22日	7 年 1 ヶ月	2017-00011125-01-2
9	9回目点検	2017年10月30日	7 年 5 ヶ月	2017-0001888-01-2
10	10回目点検	2018年9月18日	8 年 3 ヶ月	2018-00015173-01-2

図-1.1 埋立地平面図

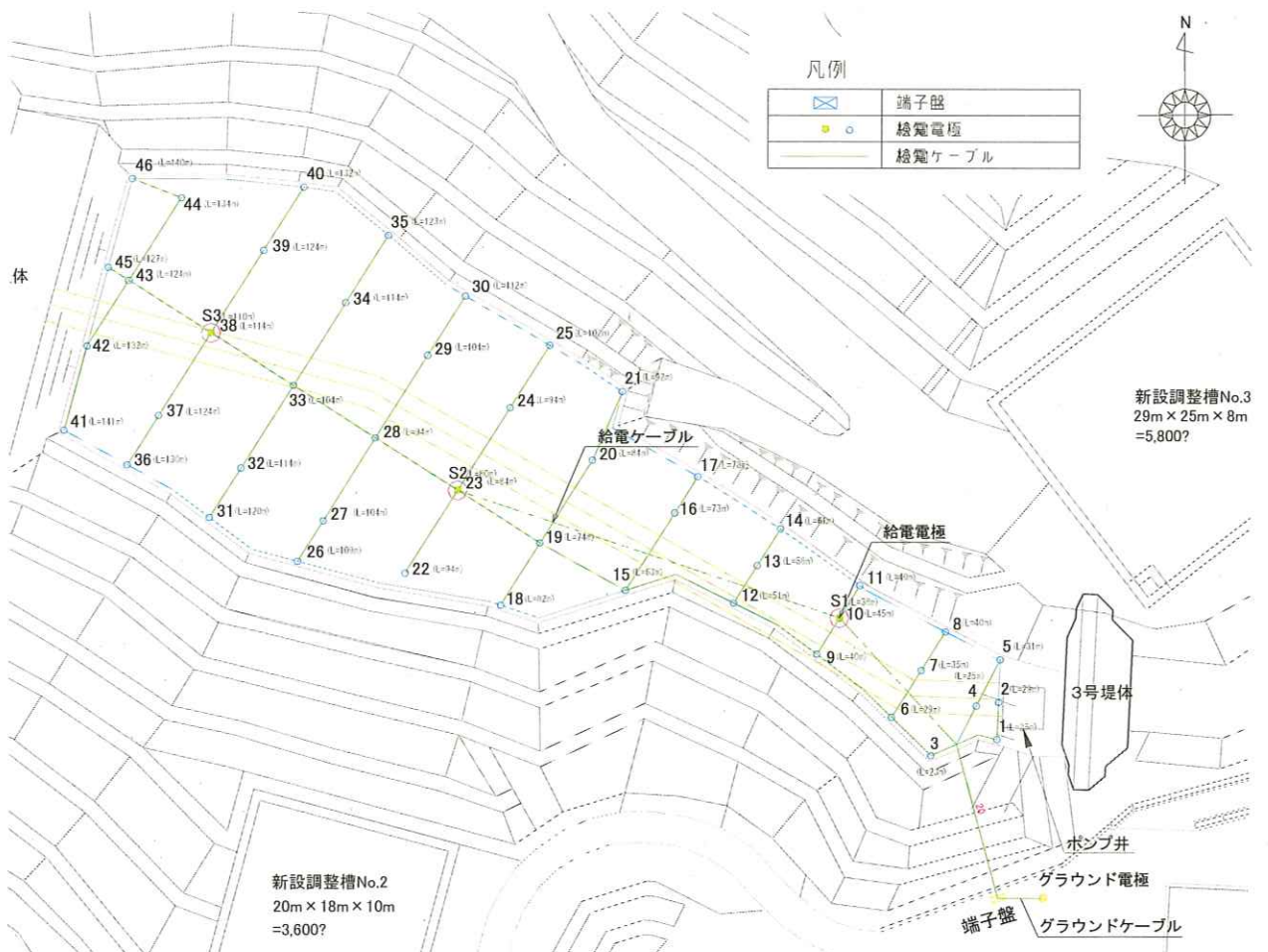




図-1.2 下流中継端子盤付近より埋立地(土堰堤)側



図-1.3 上流中継端子盤付近より下流側埋立地

## 2. 測定概要

実施日 ; 2018年09月18日(火)

天候 ; 晴れ

測定対象 ; 下流ブロック底盤部の上層シート

測定機器 ; PMS (ポータブルモニタリングシステム)

測定方法 ; 端子盤設置場所において計測機器を下記の各電極に接続することにより測定を実施した。

- ・検知電極 (センサー) : No 1 ~ 46 (遮水シート間に設置)
- ・場内給電電極 : S1 ~ S3 (保護土内に設置)
- ・場外給電電極 : G (中継端子盤アースに接続)



図-2.1 測定機器設置(測定)状況



図-2.2 測定状況

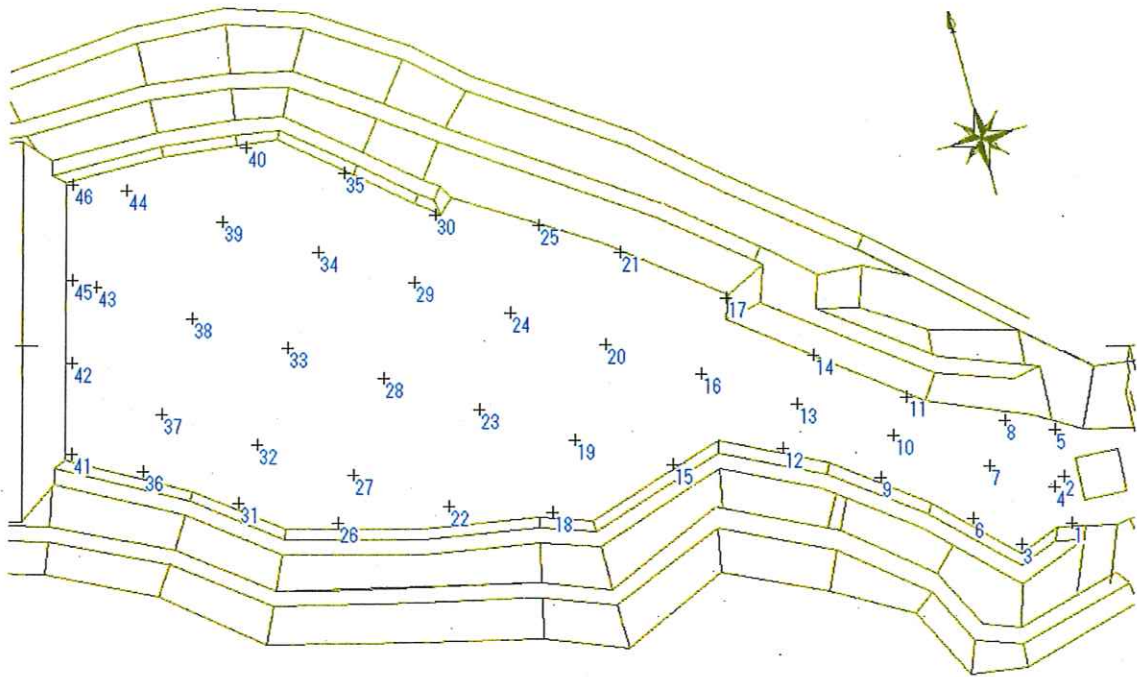


図-2.3 電極配置平面図

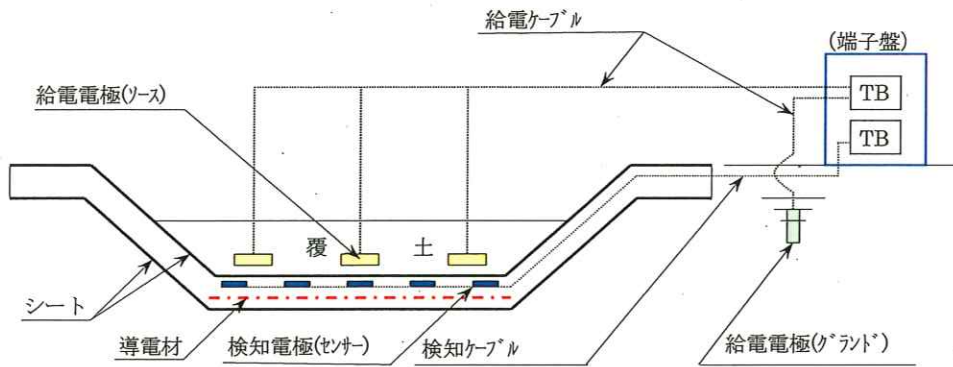


図-2.4 システム設置概要図

### 3. 測定結果

#### 3.1. 測定条件

測定条件を以下に示す。

表-3.1 測定条件

条 件		備考
天 候	晴れ	2018/9/18
地盤表面の状態	湿潤	
S1~S3-G 間 無負荷抵抗	956kΩ	マルチメータ
S1~S3-G 間 印加時電圧	10V	マルチメータ
S1~S3-G 間 印加時電流	65mA	マルチメータ

### 3.2. 測定結果

#### ①現況測定結果

現況における遮水シートの状態を測定した結果を図-3.1に示す。今回の測定結果の比較として前回の測定データ（2017年10月30日14:06）を図-3.2に示す。

1	測定方式	電圧，基準点間測定
2	DMM 測定レンジ	固定、分解能 0.1mV
3	サンプリングレート	T1=2s, T2=1s, T3=2s, T4=1s

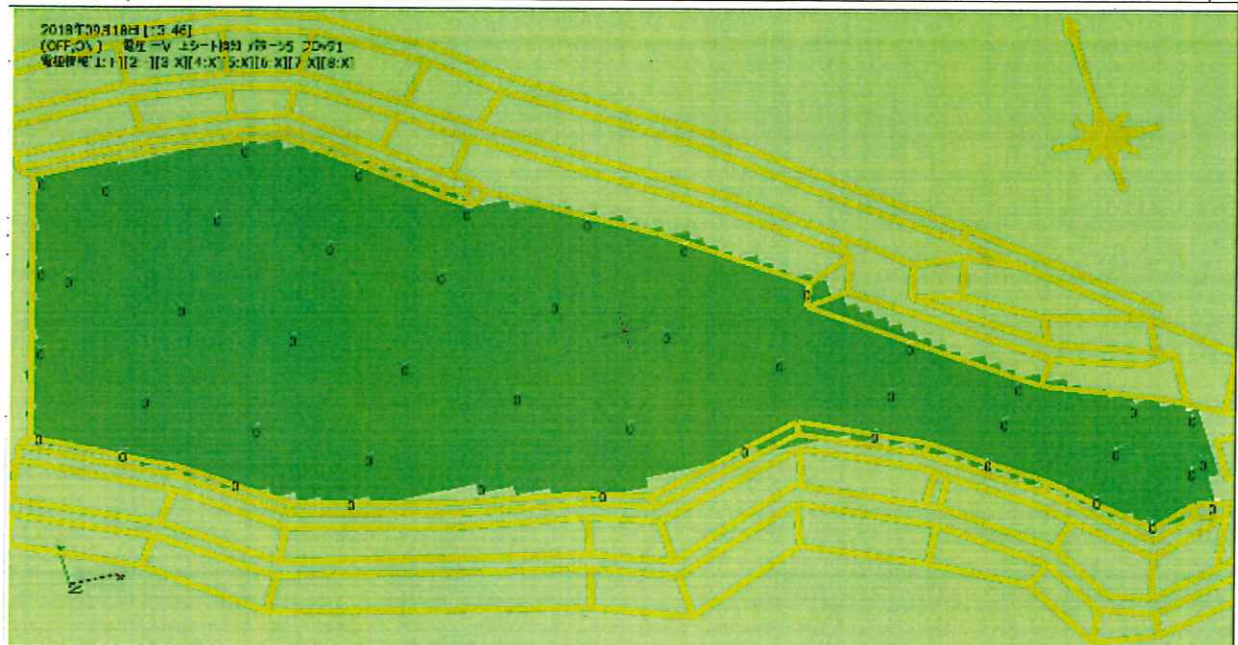


図-3.1 今回測定データ（2018年9月18日 13:46）

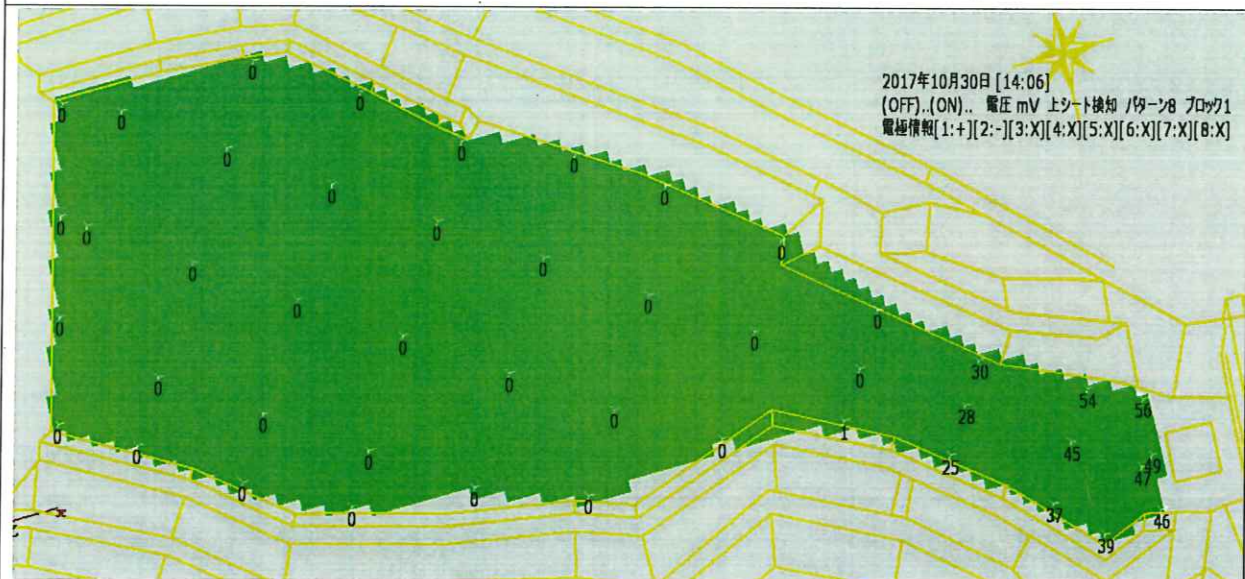


図-3.2 前回測定データ（2017年10月30日 14:06）

#### 4. 考 察

PMS 測定機を用いて漏洩検知の現地測定を実施した。その結果、前回同様、漏洩を示す顕著な電位変動は見られないことから遮水工の健全性が維持されているものと判断する。



1

平成30年9月18日

遮水シート健全性確認  
漏水検知システム検査状況

上流側

立会者  
鈴木監督員



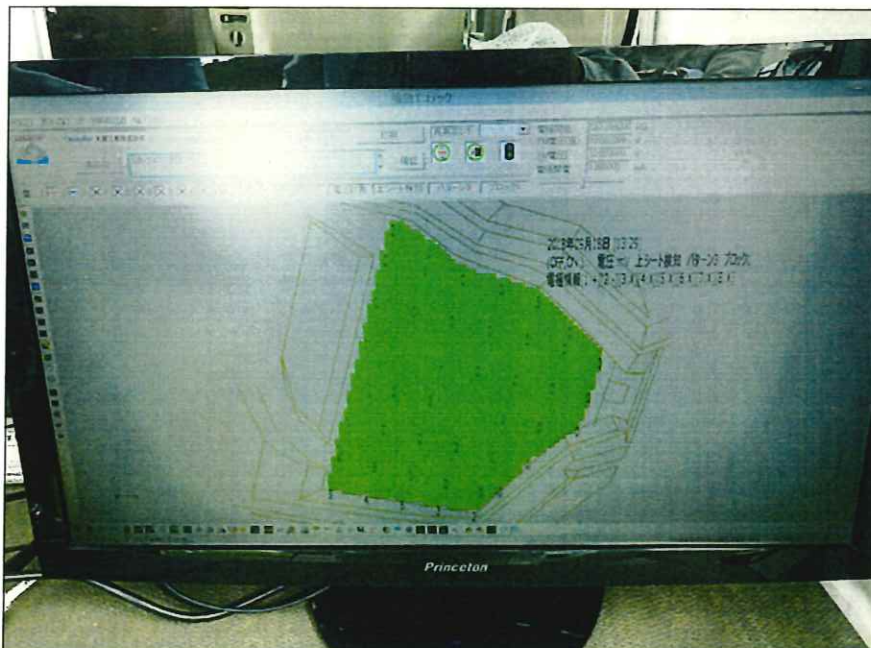
2

平成30年9月18日

遮水シート健全性確認  
漏水検知システム検査状況

上流側

立会者  
鈴木監督員



3

漏水検知システム  
検査結果

上流側



4

平成30年9月18日

遮水シート健全性確認  
漏水検知システム検査状況

下流側

立会者  
鈴木監督員



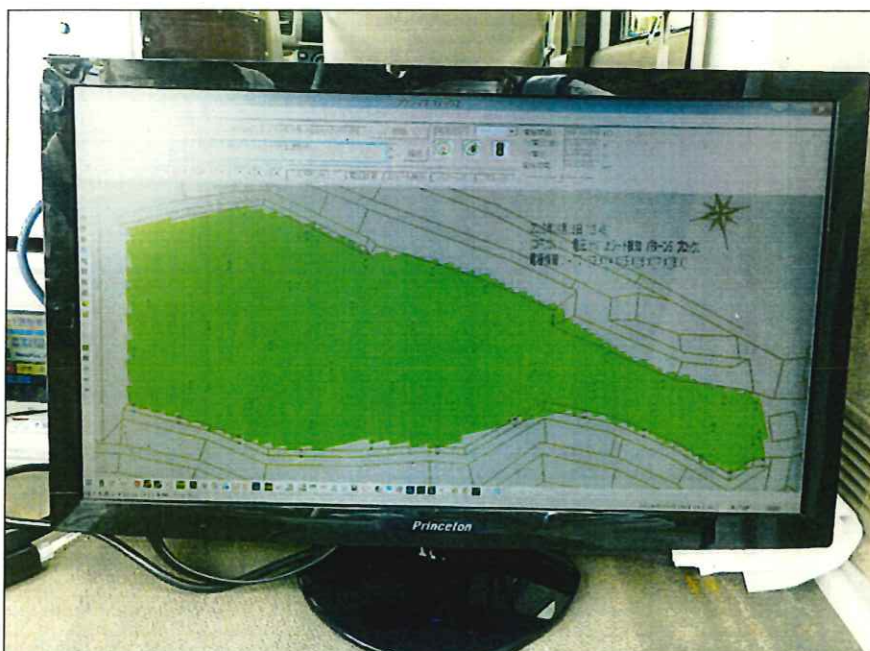
5

平成30年9月18日

遮水シート健全性確認  
漏水検知システム検査状況

下流側

立会者  
鈴木監督員



6

漏水検知システム  
検査結果

下流側